

今月の寺ともさん 松原 成信さん



今月の寺ともさんは、松原成信さんです。松原さんは、今年の4月29日に元高松地方裁判所民事首席書記官として裁判所事務功勞によって、瑞寶小綬賞すいほうしょうじゆしょうを受賞されました。長年四国四島の裁判所の書記官や事務官として活躍されたことが表彰の理由です。

裁判所の書記官とは、テレビのニュースなどで法廷の様子が映し出されることがありますが、裁判官が一番奥にいて、その一段手前でまさしく書記の仕事をしているのが書記官なのです。松原さんも若かりし頃書記官を経験されました。その後は事務官も勤められ、一步一步ステップアップしていかれました。

定年退職後も、民事調停員として10年間職責を果たされました。調停員とは、調停を申し立てられた方のお話を丁寧に聞いて、信頼を得て問題の着地点を探るというお仕事です。頭ごなしに法律を振りかざすのではなく、お互いに常識的な線で納得してもらえようとするのが腕の見せ所です。裁判所出身の調停員は、難しいケースを担当することが比較的多い面もあり、なかなか骨の折れる仕事でもあったそうです。全部で45年間にわたる裁判所のお仕事を、この9月末にようやく終わられました。大変長らくお疲れ様でございました。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：シロちゃん
性別：♀
お年：18歳
種類：MIX
好物：人間の食べ物
苦手：飼い主
住所：清水さん宅(高松市)
性格：我がまま気まま



ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：シロちゃんは、以前紹介した清水さん宅のブチちゃんと同じ日に生まれた猫です。清水さんが自分の食事を分け与えたのが始まりで、シロちゃんは猫用缶詰でなく、人間の食べ物を欲しがるようにになりました。今ではテーブルに料理を載せたお皿を置いた瞬間に狙いに來るのだとか。しかし飼い主に寄って來るのは、その時だけ。あとは顔を見ると逃げていきます。さすがにこの振舞いにはショックを受ける飼い主さんです。猫は気ままですね。

総代の松本です。先日、手作りのお惣菜を持ち寄り友人数人とおしゃべりしました。話はどうしても孫の事になります。友人が娘さん家族と食事をした時の事、お孫さんが「このハンバーグおいしい、ママが作ったんやね」と言いました。でも実はそれはおばあちゃん作。それを知るとお孫さんは突然「私ハンバーグ嫌い。」と前言を翻しました。これは彼女のママを愛する気持ちが言わせた言葉、おばあちゃんのハンバーグをほめたので、ママに悪い事をしたと思ったのでしょうか。友人は「子どもにとって親が一番なのやなあ。」と思ったそうです。子ども時代はほんの一瞬、そのかけがえのない日々を親子で大切に過ごして欲しいと思ったことでした。そこで思い出したのが、2015年8月の法語カレンダーの言葉です。「今を生きずにいつを生きる ここを生きずにどこを生きる」と。

